三月定例市議会

可決された主な議案

三月十日から三月二十五日まで十六日間の日程で開かれた三月定例市議会では、前ページに挙げた昭和六十三年度南国市一般会計予算などのほかに次のような議案が可決されました。

▩昭和六十二年度南国市一般会計補正予算＝総額四億二千五百二十七万円の減額補正。予算措置により生じた残余財源と退職手当債をもとに退職手当二億二千三百九十六万円を計上。

▩昭和六十二年度南国市老人保健特別会計補正予算＝昭和六十二年度の医療費に不足が生じるため一千五百七十二万円を補正。

▩昭和六十二年度南国市住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算＝総額三千四百二十七万円を追加補正。

▩昭和六十二年度南国市水道事業会計補正予算＝整備事業の変更に伴い、四千七百七万円を減額。

▩南国市職員定数定例の一部を改正する条例＝退職手当債の借り入れには借り入れ対象人数以上の定員削減が必要であるため、六十三年四月一日現在の予定職員数を基本に五人の定数減（市長部局四人、選挙管理委員会事務局一人）を行う。

▩南国市特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償支給条例の一部を改正する条例＝社会教育指導員の同和教育担当指導員について県費補助が増額されるのに伴って、社会教育指導員の報酬を改定する。

▩南国市保育所入所措置条例の一部を改正する条例＝第二条の内容に類しない場合でも長の権限で自由契約児として措置する。

▩南国市消防団員の定数、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例＝南国市消防団北部分団瓶岩班に消防ポンプ自動車を配備したことにより、団員の定数を三人増やし、三百三十四人とする。

▩南国市固定資産評価員選任の同意について＝吉本太志男助役の退職に伴い、新たに浜田一雄助役を選任する。

三月定例市議会の議事録は、六月以降市立図書館で閲覧できる予定ですので利用してください

人事異動

管理職の退職で執行部が大幅異動

初の女性課長を登用

市では三月二十四日に四月一日付けの人事異動を発表しました。

総勢百四十四人で、規模は例年並みですが、企画課長や生活環境課長など十五人が退職したことにより、執行部が大幅に入れ替わり、初めて女性課長も登用されました。

また、都市計画課に下水道係を新設、一方、建設課の管理係と労政係を統合し、管理労政係としました。

◪退職

唐岩白龍（企画課長）、岡田年秋（生活環境課長）、中沢利夫（議会事務局長）、松山家俊（税務課主監）、山嶋弘道（産業経済課商工振興係主幹）、浜田甕子（生活環境課）、小松美喜恵（里保育所長）、川村文子（奈路小学校）、小松日出子（大湊小学校）、国則重雄（消防署副署長）、森英郎（消防署北部出張所長兼消防係長）

▼参事兼建設課長＝西村健（税務課長）▼参事兼教育次長兼教育委員会事務局総務課長兼学校教育課長＝島内日出見（教育次長兼教育委員会事務局総務課長兼学校教育課長）▼企画課長兼開発公社事務局長＝北岡克彦（保健課長）▼総務課長＝吉永明（総務課長兼建設課長）▼財政課長＝坂本信雄（永道局長）▼税務課長＝尾木芳盟（会計課長）▼保健課長＝池本整爾（選挙管理委員会事務局長）▼生活環境課長＝松本幸雄（農業委員会事務局次長兼農地係長）▼福祉事務所長＝門田舜（総務課課長補佐兼総務係長）▼会計課長＝橋詰信子（税務課税務管理係長兼市民税係長）▼水道局長＝岡崎俊一（福祉事務所長）▼議会事務局長＝上村朝英（議会事務局次長兼庶務係長）▼選挙管理委員会事務局長＝大崎龍三（保健課課長補佐兼国保係長）▼監査委員事務局長＝野口淳夫（教育委員会事務局主監兼学校教育係長）

◪課長補佐、係長、主幹

開発公社事務局次長兼企画課課長補佐＝西川哲（開発公社事務局次長）▼総務課課長補佐兼職員係長＝竹中守（総務課職員係長）▼財政課課長補佐兼管財係長＝比江森敬史（同和対策課中央福祉館長）▼税務課課長補佐兼市民税係長＝松岡龍男（監査委員事務局長）▼同和対策課南部福祉館長＝猪田昭夫（税務課課長補佐）▼建設課課長補佐兼管理労政係長＝松岡孝行（建設課課長補佐兼管理係長）▼会計課課長補佐兼会計係長＝大川一水（企画課秘書係長）▼農業委員会事務局次長兼農地係長＝岡田舜一（農業委員会事務局農業振興係長）▼企画課秘書係長＝有沢正幸（民生課年金係長）▼総務課総務係長＝野村道俊（教育委員会事務局総務係長）▼税務課税務管理係長＝岩崎明雄（民生課領石支所長）▼民生課領石支所長＝戸田隆彦（建設課労政係長）▼民生課年金係長＝谷喜代（民生課岡豊支所長）▼民生課岡豊支所長＝安松惇子（総務課主事）▼保健課国保係長＝佃洋二（会計課会計係長）▼同和対策課中央福祉館長＝溝渕勉（産業経済課主事）▼都市計画課

下水道係長＝田中俊光（同和対策課技師）▼教育委員会事務局総務係長＝福川学（財政課管財係長）▼教育委員会事務局学校教育係長＝池内哲男（同和対策課主事）▼議会事務局庶務係長＝中山泰夫（水道局主事）▼農業委員会事務局農業振興係長＝吉岡道穂（同和対策課南部福祉館長）▼生活環境課主幹＝島田徳江（選挙管理委員会事務局主幹）▼同和対策課南部福祉館主幹＝川添寿亀（福祉事務所社会係主幹）▼選挙管理委員会事務局主幹＝溝渕時美（民生課市民係主幹）

◪主事、技師、技能職

【総務課】田岡由紀子（民生課）、山本恭平（保健課）、小串一（税務課）、浜田貞秋（同和対策課）、山中武志（議会事務局）、川本貞治子（生活環境課）、山田求（生活環境課）

【財政課】井上妙子（民生課）

【税務課】楠本雅昭（福祉事務所）、井上真美（教育委員会事務局）、高木茂美（生活環境課）、岩原富美（保健課）

【民生課】比江森礼子（教育委員会事務局）、刈谷叡子（産業経済課）、十河清香（財政課）、和田香代（建設課）、門脇洋子（保健課）

【保健課】黒岩和（水道局）

【生活環境課】利岡正志（税務課）、佐竹茂（産業経済課）

【同和対策課】山本晃義（福祉事務所）、千谷和敏（税務課）、山下博由（建設課）、浜川正俊（建設課）、橋本保（都市計画課）

【産業経済課】土橋愛（民生課）、鍋島信（総務課）、田岡正博（企画課）、池上幸美（民生課）、吉川宏幸（同和対策課）

【建設課】田渕博之（議会事務局）、井口善喜（産業経済課）、福井利泰（産業経済課）

【都市計画課】藤川威佳志（同和対策課）

【福祉事務所】宮地哲（農業委員会事務局）

【教育委員会事務局】中島陽子（総務課）、福岡昌雄（建設課）

【議会事務局】川村久仁夫（総務課）

【農業委員会事務局】細木猛（同和対策課）

【水道局】村田功（財政課）、中村さち（税務課）

◪保育所長

国府保育所長＝藤岡浅子（あけぼの保育所長）▼久礼田保育所長＝宮地敬子（国府保育所長）▼あけぼの保育所長＝大前貞子（久礼田保育所長）▼里保育所長＝野村幸子（稲生保育所）

◪保母

【後免野田保育所】大谷美智恵（大湊保育所）、末久恵美（大篠保育所）

【長岡西部保育所】植野志津代（後免野田保育所）、吉永香澄（大篠保育所）、西岡さゆり（岡豊保育所）

【長岡東部保育所】山崎桃代（久礼田保育所）、溝渕順子（長岡西部保育所）

【久礼田保育所】島崎明美（大篠保育所）、利岡一美（里保育所）

【岡豊保育所】森本幸子（あけぼの保育所）、伊藤誠子（明見保育所）、北村喜美子（南児童館）

【稲生保育所】安岡静子（明見保育所）、沢本弥生（大篠保育所）

【大篠保育所】永森なを（岩村保育所）、篠原和枝（長岡西部保育所）、長野洋子（久礼田保育所）、河内由美（十市保育所）、吉野弘子（わかくさ児童館）、門田綾乃（後免野田保育所）

【岩村保育所】岡林由紀子（岡豊保育所）

【あけぼの保育所】松岡あや子（大湊保育所）

【十市保育所】西田真弓（大湊保育所）、山本かすみ（稲生保育所）

【大湊保育所】竹村美津代（長岡東部保育所）

【明見保育所】高橋早苗（岩村保育所）、大崎孝（西部児童館）

【里保育所】松村幸子（十市保育所）、浜口ちさ子（長岡東部保育所）

◪技能職

岩村保育所＝末政麗美（里保育所）▼あけぼの保育所＝猪野実江（岩村保育所）▼十市保育所＝山本美智子（あけぼの保育所）▼里保育所＝豊水恵子（十市保育所）▼十市小学校＝小松朋子（久礼田小学校）▼稲生小学校＝西岡好子（大湊小学校）▼大湊小学校＝中村多嘉恵（稲生小学校）▼長岡小学校＝吉岡早代（岡豊小学校）、今井邦子（香南中学校）▼国府小学校＝山岡知佐（十市小学校）▼岡豊小学校＝植野律子（長岡小学校）▼奈路小学校＝谷村美江（国府小学校）▼久礼田小学校＝吉川美津（長岡小学校）▼香南中学校＝葛目千加子（久礼田小学校）

◪南国消防署

【消防本部】

警防課課長＝植野求（警防課課長補佐）▼警防課予防係長＝櫛瀬克一（消防署第一消防隊長）▼警防課警防係長＝田岡高昭（警防課警防係）

【消防署】

副署長兼第一消防隊長＝前田賢夫（第二消防隊長）▼消防係長兼第二消防隊長＝大谷豊克（消防本部総務課総務係）▼第三消防隊分隊長＝徳久哲夫（消防署北部出張所分隊長）

【消防署北部出張所】

消防署北部出張所長兼消防隊長＝小松正幸（消防署北部出張所副所長兼消防隊長）▼消防署北部出張所副所長兼分隊長＝徳橋広論（第二消防隊分隊長）

【昇任】

消防司令補＝櫛瀬克一、前田賢夫、小松正幸、田岡高昭、大谷豊克

◪新採用

〈行政〉

企画課＝渡部靖（田村）▼保健課＝川村美智（高知市）、山田恭輔（下野田）▼産業経済課＝吉田修章（物部）▼福祉事務所＝秋田節夫（大埇）

〈保母〉

岡豊保育所＝岡林明美（植野）

〈技能職〉

久礼田小学校＝川崎利恵（廿枝）

〈消防署〉

公文一宏（香我美町）、川田真嗣（廿枝）、小松貞雄（大埇）

おわびと訂正

四月一日号広報なんこく三ページの「昭和六十二年度は、南国市に二千三百㎡の転作目標面積が配分され、」は、「二千三十四㎡の転作目標面積」の誤りでした。おわびして訂正いたします。